

人間文化研究機構「現代インド地域研究」主催

平成 22 年度 現代インド・南アジア次世代研究者合宿 「民主主義と社会変容」

日時： 2011 年 3 月 19 日(土)-21 日(月)

場所： KKR びわこ(滋賀県大津市) <http://www.kkrbiwako.com/>

■趣旨

NIHU プログラム「現代インド地域研究」では、過日、全国の若手研究者(大学院生およびポスト・ドクター(PD)、来年度に大学院進学を予定している学部生を含む)を対象に、「現代インド・南アジア次世代研究者合宿」参加者を募集し、厳正なる選考の結果、計 25 名を受講生として決定した。

合宿では、4 つの各パネル(1. 市民社会、2. 開発、3. アイデンティティ、4. ジェンダー)について研究発表を行い、参加者との質疑応答・討論を通して、現代インドおよび南アジアにかかる学術的理解の深化と拡大を目指す。

■プログラム

3 月 19 日(土)

13:00 受付(ロビー)

14:00 開会(別館クラブハウス)

14:00-14:15 趣旨説明 中溝和弥

◇パネル1 市民社会 (担当:池亀彩、中溝和弥)

<概要>

市民社会について考える時、我々は西洋のモデルを基準としがちである。そこからインドの、あるいはアジアの社会は遅れているとか、「正しい」方向に向かうべきだという判断が生まれる傾向がある。しかし、人々が政治的主体性をどう持ち得るのかと考えたときに、市民社会の形はさまざまな可能性をもって立ちあらわれてくる。このパネルでは、これまでの市民社会モデルを批判的に捉えながら、インド・南アジア地域における市民社会に関する議論(民主主義、セキュラリズム、権利など)を行うことを目標とする。

<司会>石坂晋哉、宇根義己

<発表者>

14:15-15:15 池亀彩(Open University)「セキュラリズム論」

(1 人 1 時間/発表 30 分、質疑 30 分:以下同じ)

- 15:15-16:15 板倉和裕(広島大学)「インド制憲過程におけるマイノリティの政治的保障措置をめぐる論争」
- 16:15-16:30 休憩
- 16:30-17:30 中西宏晃(京都大学)「ポスト冷戦期における核政策の展開と『世論』及び『市民社会』との関係」
- 17:30-18:30 中溝和弥(京都大学)「市民社会論」

3月20日(日)

◇パネル2 開発 (担当:石坂晋哉、宇根義己)

<概要>

現代インド・南アジアでは、経済発展やグローバル化に伴って地域社会や環境をとりまく状況が大きく変化している。本パネルは、工業化や環境などに関する政策・計画やその実施過程をめぐり、それらの背景や、地域社会への影響、都市・農村関係の変容などについて議論する。

<司会>志賀美和子

<発表者>

- 9:00-10:00 宇根義己(広島大学)「工業化と地域社会」
- 10:00-11:00 中川加奈子(関西学院大学)「ネパールの民主化・近代化と新たな共同性の創出—『肉売りカースト』の生活実践から—」
- 11:00-11:15 休憩
- 11:15-12:15 石坂晋哉(京都大学)「環境と政治・社会」

◇パネル3 アイデンティティ (担当:志賀美和子、杉本浄)

<概要>

インドにおけるアイデンティティの在り方は多様・多面的である。しかし、被差別意識や文化的差異(言語、地域、宗教、カースト)が認識・共有される過程で特定のアイデンティティが強調され、社会運動・政治運動となって先鋭化する場合がある。本パネルでは政治・社会運動をアイデンティティを切り口に考察したい。

<司会>池亀彩、中溝和弥

<発表者>

- 13:30-14:30 志賀美和子(龍谷大学)「多元的社会におけるアイデンティティの顕現と可能性—『不可触民』の場合」

- 14:30-15:30 根本達(筑波大学)「二つの改宗から考える宗教コミュニティ間の対立と融和―現代インドの仏教徒たちによるアイデンティティ・ポリティクスと日常実践―」
- 15:30-15:45 休憩
- 15:45-16:45 小野道子(UNICEF パキスタン事務所)「パキスタン、カラチにおけるバングラデシュ移民」
- 16:45-17:45 山本達也(京都大学)「チベット難民若年層に見るアイデンティティの変容とその可能性」
- 17:45-18:45 須永恵美子(京都大学)「ムスリム・アイデンティティと言語」

3月21日(祝)

◇パネル4 ジェンダー (担当:和田一哉)

<概要>

ミレニアム開発目標の一項目である女性のエンパワーメントは、インドにとっても喫緊の課題である。現在様々な家計データが多くの国際機関により提供され、多様な分析が可能となっている。これらを利用してインドにおけるジェンダー問題を考えるとともに、その他の社会・経済問題についても議論したい。

<司会>志賀美和子

<発表者>

- 9:00-10:00 國弘暁子(群馬県立女子大学)「マスキュリニティと現世放棄：去勢儀礼を通過した現世放棄者たちのジェンダーに関する考察」
- 10:00-11:00 小林磨理恵(東京外国語大学)「ケーララにおける『結婚持参金(ダウリー)問題』にみる民主主義と社会変容」
- 11:00-11:15 休憩
- 11:15-12:15 総合討論 (担当 池亀彩)

■ 問合せ先

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科附属現代インド研究センター

NIHU プログラム「現代インド地域研究」京都大学中心拠点事務局

e-mail: [indas_office\[at\]asafas.kyoto-u.ac.jp](mailto:indas_office[at]asafas.kyoto-u.ac.jp) ([at]は@に変えてください。)

Web ページ:<http://www.indas.asafas.kyoto-u.ac.jp/>

Tel: 075-753-9192 Fax: 075-753-7389

《現代インド・南アジア次世代研究者合宿実行委員会》

中溝和弥、池亀彩、石坂晋哉、宇根義己、志賀美和子、杉本浄、和田一哉

《発表者以外の受講生》

赤木綾香(鳥取県立高等学校)、岩田香織(東京大学)、上田知亮(名城大学)、川中薫(京都大学)、北川将之(神戸女学院大学)、小西公大(東京大学)、志田泰盛(京都大学)、中野歩美(熊本大学)、宮坂綾(早稲田大学)、楊小平(広島大学)